

# 第18回 がんばれ西高!

## ～創立85周年記念式典～

**教育理念推進 思い新たに**  
松江西高 創立85周年の記念式典

創立85周年を迎えた松江西高が18日、松江市上乃木3丁目の同校で、記念式典を開いた。生徒や学校関係者ら約560人は「社会に役立つ実践的な人間を育成する」という同校の教育理念の推進に思いを新たにしました。

式典では、前田裕之校長や同校を運営する永島学園の永島一雄理事長らがあいさつ。前田校長は

「1万5千人の卒業生を送り出してきた。人に必要とされる人間になるよう礼儀や協調性、情報を適切に処理する力を身につけてほしい」とメッセージを伝えた。講演会では、三重県松

阪市の三重高校ソフトテニス部監督として3度の全国高校総体優勝に導いた垂髪隆一校長(58)が「生徒の心に火を付ける工夫」について話した。垂髪校長は、靴の整え方やはしの使い方など「生活をすべてチェックして自分を見直して」と呼び掛けた上で、「哲学を持つこと」「あいさつをすること」などの必要性を挙げた。

同校は、1924年に同市南田町の「松江高等簿記学校」として開校した。

記念式典であいさつする前田裕之校長



創立85周年記念式典が無事終了しました。総勢560名の参加があり、大きな節目を生徒のみなさんと祝うことができました。このすばらしい伝統を大切に、地域に貢献する人材になることを願っています。